



2023年度 環境経営レポート (2023年10月～2024年9月)



株式会社 東洋彫刻製作所

発行日： 2025年1月31日

環 境 経 営 方 針

〈環境理念〉

株式会社東洋彫刻製作所は、消費電力の少ない器具を選定するなど経営における課題とチャンス定期的に明確化し、自然環境、地域社会との調和と共生に配慮した事業活動を自主的・積極的に推進していきます。

〈環境保全への行動指針〉

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

- ①二酸化炭素排出量の削減（電気・ガソリン・軽油の削減）
- ②水道水使用量の削減
- ③資源の再生利用及び廃棄物の分別管理とその量の削減
- ④ペーパーレス化を図る
- ⑤化学物質の適正管理
- ⑥製品は環境にやさしい材料を使用し、顧客にも勧めます。
- ⑦3ム（ムリ・ムダ・ムラ）を無くし、歩留向上に力を尽くす

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 環境への取り組みを環境経営レポートとして取りまとめ公表します。

4. 本環境経営方針はすべての従業員に周知します。

制定日： 2009年 2月15日

改訂日： 2022年 3月5日

代表取締役社長 濱田 陽平

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名

株式会社 東洋彫刻製作所

代表取締役社長 濱田 陽平
- (2) 所在地

本 社

〒671-2122 兵庫県姫路市夢前町置本591番地9

豊中営業所

〒561-2829 大阪府豊中市千成町1丁目6-13 コンフォート豊中102号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者

取締役

吉田 領

TEL:079-337-2088

担当者

取締役

濱田 恵子

TEL:090-5256-1034
- (4) 事業内容

各種看板・銘板の製作及び印刷・プラスチック加工・LED
- (5) 事業の規模

売上額

30,440 万円 (2023年度実績)

	本社
従業員	20
延べ床面積	999㎡
- (6) 事業年度

10月～翌年9月
- (7) 実施体制の構築

代表者

環境管理責任者

環境事務局

危険物管理者

全従業員

代表者

環境管理責任者

環境事務局

危険物管理者

全従業員

・環境経営方針の設定

・環境経営レポートの承認

・環境経営システムの構築、実施、管理

・環境関連法規等の取りまとめ表の管理

・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施

・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成

・環境関連法規等とりまとめ表の作成及び管理、厳守評価の実施

・環境経営レポートの作成

・工場及び現場での危険物使用時の安全と使用者の指導

・決定したことは守る

・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚

・環境管理責任者の任命

・環境負荷及び取り組み状態の把握

・環境経営レポートの確認

・代表者による全体評価と見直し・指示
- 2

□ 認証・登録の対象範囲」

登録組織名：株式会社 東洋彫刻製作所

対象事業所：本社、豊中営業所

活動：各種看板・銘板の製作及び印刷・プラスチック加工

□主な環境負荷の実績

単位・年度 項 目	単位	2020年度基 準年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	71,369	68,759	68,232
電力	kWh	52,604	65,358	70,678
ガソリン	L	15,834	16,267	15,352
軽油	L	4,392	4,145	4,121
灯油	L	0	0	
一般廃棄物量(A)	kg	7,220	7,530	7,023
リサイクル量(B)	kg	1,390	1,250	1,363
リサイクル率(B/A)	%	19.3%	16.6%	19.4%
産業廃棄物量 (A)	kg	24,430	22,192	23,415
リサイクル量(B)	kg	9,530	5,877	8,790
リサイクル率(B/A)	%	39.0%	26.5%	37.5%
水使用量	m ³	213	255	156

注1) 2010年度以降、暖房用灯油の使用を中止.木屑を使用(ダルマストーブに切り替えた)

* 1 : 金属屑＝金属屑＋アルミ

* 2 : 混合屑＝混合くず

□環境目標及びその実績
 (1) 中長期目標

年 度		2020年度 基準	2022年度	2023年 度	2024年度	2025年度
項 目						
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	71,369 △5.0%	68,871 △3.5%	68,514 △4.0%	68,157 △4.5%	67,801 △5.0%
電力使用量削減 0.311Kg-CO ₂ /kwh	kWh	52,604	50,763	50,500	50,237	49,974
	kg-CO ₂ 対基準	16,360 △4.5%	15,787 △3.5%	15,705 △4.0%	15,624 △4.5%	15,542 △5.0%
ガソリン 使用量削減 2.32Kg-CO ₂ /L	L	15,834	15,280	15,201	15,121	15,042
	kg-CO ₂ 対基準	36,735	35,449 △3.5%	35,265 △4.0%	35,082 △4.5%	34,898 △5.0%
軽油 使用量削減 2.58Kg-CO ₂ /L	L	4,796	4,628	4,604	4,580	4,556
	kg-CO ₂ 対基準	12,374	11,941 (新基準値* △3.5%)	11,879 △4.0%	11,817 △4.5%	11,755 △5.0%
II. 一般廃棄物 リサイクル率向上	%	19.3%	19.9%	20.0%	20.1%	20.2%
	対基準		+3.0%	+3.5%	+4.0%	+4.5%
III. 産業廃棄物 リサイクル率向上	%	22.5%	23.0%	23.1%	23.2%	23.2%
	対基準		+2.3%	+2.6%	+2.9%	+3.2%
IV. 水使用量削減	m	242	242	242	242	242
	対基準	±40m	±40m	±40m	±40m	±40m
V. 裏紙使用100%	%	裏面使用 100%	裏面使用 100%	裏面使用 100%	裏面使用 100%	裏面使用 100%
VI. 化学物質の適正管 理 * 1	%					
		総量	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
VII. 環境にやさしい材料 を使用 * 2		5	6	7	8	9
VIII. 会社周辺の清掃活 動	品目	毎月1回	新型コロナウイルス感染防止等により、取り止め			

注1) 電力の二酸化炭素排出量への換算係数は、2021年度関西電力㈱の調整後排出係数0.311kg-CO₂/kWhを使用している
 * 1 : 化学物質の適正管理 : 可能な限り有害性の低い物質を最少限度使用し、SDSで管理する。
 * 2 : 看板照明にLEDを全件使用。
 * 3 : 軽油の基準値を2020年度実績値(4,796L)に変更し、2021年度(基準値 * △3.0%)で再スタートすることにした。
 (△3.0%からスタートしたのは、電気及びガソリンと削減代と同じにすることで、目標値設定の簡素化を図った)
 (理由:ガソリン車を軽油車に変更したこと。業務内容が、軽油を使用する高所作業車の使用頻度が増えたこと)
 * 4 : 水使用量の2021年度以降は、「2017年度基準値±40m³」を基準範囲として目標値を再制定した。
 (理由:ウエスの再使用により、水使用量が恒久的に増加するため、再制定した)

(2) 2023年度の実績

項 目		年 度	2020年度 基準	2023年度の実績 (2023年10月～2024年9月)			
				目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	対基準	71,369	68,514	68,232	100.4%	○
				△4.0%			
電力使用量削減	kWh		52,604	50,500	70,678	71.5%	×
0.311Kg-CO ₂ /kwh	CO ₂		16,360	15,706	21,981		
	対基準			△4.0%			
ガソリン使用量 削減	L		15,834	15,201	15,352	99.0%	△
2.32Kg-CO ₂ /L	CO ₂		36,735	35,266	35,617		
	対基準			△4.0%			
軽油使用量削減	L		4,796	4,604	4,121	111.7%	○
2.58Kg-CO ₂ /L	CO ₂		12,374	11,878	10,632		
	対基準			△4.0%			
II. 一般廃棄物 *1 リサイクル率向上	%		19.3%	20.0%	19.4%	97.0%	△
III. 産業廃棄物 *2 リサイクル率向上	%		22.5%	23.1%	37.5%	162.5%	○
IV. 水使用量削減	m ³		242	242	156	155.1%	○
V. 裏紙使用100%	-		裏面使用	裏面使用	裏面使用	裏面使用	○
VI. 化学物質の 適正管理	kg	総量		適正管理		#VALUE!	○
		内、PRTR法 に該当する もの		適正管理		適正管理実施	
VII. 環境にやさしい材 料を使用	台		5	6	8	133.3%	○
VIII. 会社周辺の清掃 活動	回			新型コロナウイルス感染防止等により、取り止め			

注) 評価欄にて、◎：大幅達成、○：達成、△：対目標値 80%以上：×未達成 80%未満

*1：一般廃棄物のリサイクル率=(段ボール量)/(一般廃棄物量)×100で算出。

*2：産業廃棄物のリサイクル率=(金属・アルミ屑量+木くず量)/(産業廃棄物量)×100で算出。
(上記リサイクル率の算出に用いた段ボール等実績値は「(2) 主な環境負荷の実績」表に記載の各数値による。)

*3：二酸化炭素の基準は軽油基準値を2020年度に変更した

□環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
二酸化炭素排出量削減 （目標達成）		
下記の電力・ガソリン・軽油の使用量の削減に取り組むことで、二酸化炭素排出量を削減する。	○	二酸化炭素排出量は達成である。
電力使用量の削減 （目標未達成）		
・エアコン設定温度：冷房28℃	×	今年から本社と豊中営業所の合計でしているため、来年度より設定基準を変えたほうが良い
・暖房設定温度：20℃		
・昼休み工場内消灯	○	お昼休みが製作などとの時間帯がずれることもある。
・ロッカー・食堂内未使用時消灯	○	未使用の部屋の消灯は守られている
・SMARTTMETER使用で「マント」の目標設定値を決めて省エネ診断をする	○	目標設定値に近づくと音声で知らせるようになる。次年度もこのまま設定して行く。
・事務所、制作室の電球をLEDに替えた	○	工場の照明をLEDにした。
ガソリン使用量の削減 （やや未達成）		
・エコドライブの実践	△	次年度は更なる徹底が必要であり燃費を管理する。
・定期点検の実施		定期点検は欠かさず実施した。
軽油使用量の削減 （目標達成）		
・エコドライブの実践	○	次年度は基準値を変更。
・定期点検の実施	○	定期点検は欠かさず実施した。
一般廃棄物リサイクル率の向上 （やや未達成）		
・分別の徹底	△	守れている。
・リサイクル率の向上	○	ダンボールの再利用をしている。 次回からは、混合廃棄しているものを分別を細分化していければと思う
産業廃棄物リサイクル率の向上 （目標達成）		
・分別の徹底	○	バツカンには、分別できないものだけを入れる。
・リサイクル率の向上	○	廃材は必ずリサイクルする。 今後も引き続き排出量の削減とリサイクル率の向上に取り組む。
水使用量削減 （目標達成）		
・節水の周知徹底	○	水漏れを修繕した
裏紙使用100%（コピー用紙の削減） （目標達成）		
FAXできた用紙などの白紙部分は必ず使用	○	コピー用紙、両面使用は徹底している。 今後も継続して行く。
化学物質の適正管理 SDSの入手と管理	○	次年度も必要最小限の使用とする。
環境にやさしい材料の使用 （目標達成）		
環境配慮製品を積極的に使用する	○	看板照明は、ほぼLED照明を使用するようになっている。 今後も継続して行く。
会社周辺の清掃活動	—	新型コロナ感染防止のため取止め
	—	

□環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき主要要求事項	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ等）の適正処理、委託契約、マニフェスト発行、管理	遵守
浄化槽法	浄化槽の定期的な保守点検、水質検査	遵守
フロン排出抑制法	空調機の簡易点検記録、同保存（廃棄後3年）	遵守
消防法	少量危険物貯蔵所の届け出・適正管理	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体評価と見直し・指示

前年度に指摘された軽油の使用料は、1台EV車に変更したのでいい結果となったと思う。また、今年度は水道水の水漏れがあったため、水の使用料が上がっている。リサイクルについては、廃材はこまめにリサイクルに持っていくようにもしている。これからも引き続きリサイクル率向上に取り組む。

(見直し事項の変更の必要性)

項目	必要性	項目	必要性
環境経営方針	■ 無	目標・計画	■ 無
実施体制	■ 無	その他	■ 無

2024年11月10日
代表取締役 濱田陽平

□その他の取り組みを紹介

弊社はかなり前より、骨髄バンク活動に参加しており、従業員も数名ドナー登録しています。社員の1名は日本赤十字献血バスと並行型ドナー登録会場に説明員として参加しております。また、年に2回程、献血にも参加しており、ドナー休暇制度も取り入れました。

令和4年の4月からは、「健康チャレンジ企業」に登録し、従業員の健康づくりに推進しております。



第 2044 号

健康づくりチャレンジ企業
登録証

株式会社 東洋彫刻製作所 様

貴事業所を健康づくりチャレンジ企業として登録します。従業員及び家族の健康づくりの推進をお願いいたします。

令和4年4月1日

兵庫県知事 齋藤 元彦